



紀宝町

# 議会だより

第 37 号

平成28年6月1日 発行



世界遺産「熊野川」の河口から



平成28年1月～3月

- |    |     |                               |    |     |  |
|----|-----|-------------------------------|----|-----|--|
| 1月 | 2日  | 紀宝町成人式                        | 3月 | 15日 | 第1回定例会・第3日目  |
|    | 3日  | 紀宝町消防出初式                      |    | 16日 | 第1回定例会・第4日目  |
| 1月 | 18日 | 熊野川流域ダム湖下流団体協議会調査研究事業講演会（新宮市） |    | 20日 | 自衛隊入隊入校予定者激励会（津市）  |
|    | 25日 | 紀宝町老人クラブ連合会新年会                |    | 24日 | うどの幼稚園卒園式  |
|    | 31日 | 三重県町村議会議長会理事会（津市）             |    | 25日 | 地方創生に関する打合せ（東京）[26日まで]<br>紀南介護保険広域連合定例会（熊野市）   |
| 2月 | 2日  | 自治体議員研修（津市）                   |    | 28日 | 東紀州農業共済事務組合全員協議会定例会（熊野市）<br>南牟婁郡交通安全対策協議会委員会（御浜町）  |
|    | 13日 | 吉野熊野国立公園指定80周年拡張記念式典（白浜町）     |    | 29日 | 紀南病院組合議会定例会（御浜町）<br>南牟婁清掃施設組合議会定例会（御浜町）<br>紀南社会福祉施設組合議会定例会（御浜町）<br>紀南特別養護老人ホーム組合議会定例会（御浜町） |
|    | 15日 | 三重県町村議会議長会理事会（津市）             |    | 30日 | 川丈班消防車庫竣工式   |
|    | 25日 | 紀南環境衛生施設事務組合定例会（新宮市）          |    |     |  |
|    | 26日 | 三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会（津市）       |    |     |  |
|    | 28日 | 第10回社協「つれもてまつり」               |    |     |  |
| 3月 | 2日  | 第1回定例会・第1日目                   |    |     |  |
|    | 14日 | 第1回定例会・第2日目                   |    |     |  |

## 地方創生



原 章二 議員

・地方創生(1)UN

平成28年第1回紀宝町議会定例会は3月2日に開会しました。第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、新年度大綱説明及び各般についての行政報告がありました。その後、専決処分承認、教育委員会委員の任命、条例の制定、条例の一部改正、補正予算など22件の議案を原案どおり可決しました。

第2日目の14日、第3日の15日には、一般質問が行われ、7人の議員が質問に立ち、諸課題について、当局の取り組みと考え方を質しました。また、平成28年度一般会計予算を審議し、原案どおり可決しました。

第4日目の16日には、平成28年度の特別会計予算(6会計)、条例の一部改正、町道路線の廃止と認定、規約の変更に関する協議の12件の議案を原案どおり可決し閉会しました。

○人口ビジョン計画と経済支援環境について

議員

アベノミクス3本の矢による地方創生、それによって紀宝町でも総合戦略が示されませんが、高齢化、地域経済がどんどん冷え込んでいく中で、人口減少を食い止め、出生率を高めていくには経済的支援環境をどのようにつくっていくのが求められています。町としてどのように考えているのですか。

企画調整課長

国、三重県におきましても経済的状况につきましては、

緩やかにアップしている状況です。しかし三重県や紀宝町でも総生産額が平成18年度と比較して平成25年度のほうが落ち込んでいる状況です。

議員

アベノミクスによって出された、金融緩和、大型公共投資、PPP推進で結果的にはGDPの低迷であり、その根幹が消費税8%への増税で個人消費が全く伸びていない訳です。地域再生を実践していくには、町内における中小企業、個人商店の事業実績や農家の方、若い人たちの賃金などを町として調査する必要があります

あるのではないかと。

企画調整課長

中小企業、個人商店の業務実績につきましては、経済センセスなどの統計データで全体の動向を把握しているところですが、賃金実態につきましては詳細な項目を掴んでいないのが現実です。

議員

今後、地域再生にとって大事なことは、トップダウン方式や行政主導でなく住民が主体となった地域づくりをしていくことと考えます。そのためには各集落、校区単位での人口ビジョンが必要と考えま

すが。

企画調整課長

町の総合戦略では2040年には8993人になるよう人口減少に歯止めをかけていく取り組みを行っていくことになっていきますが、そのためには自治区単位、校区単位で住民の皆様のご意見などをいただき、行政と住民が協働で取り組むことは重要と考えております。

議員

地域再生では、この地域の宝である農林業等を今後どのように再構築していくかが大切と考えます。特に林業については、ほとんど展望が見いだせない状況にあります。林業の場合50年、100年といった長期的なスタンスで計画を立てていくべきと考えます。

産業基盤整備担当理事

紀宝町では木造住宅建設促進対策事業交付金により、熊野材を使用した木造住宅建設の促進をはかっているところです。林業については今後50年、100年単位の計画を立てて行っているところで、今後森林関係の法律も変わり、森林台帳の整備も国、

県から各市町に義務化され、今後2ヶ年度内に整備をしていかなければならないと考えております。

議員

若い人たちが子育てしていただくためには、町営住宅が必要であると以前から要望してきました。町としては民間業者への圧迫、維持管理等の高騰で困難であるといってきたが、熊野地域の材木を利活用して、各校区、集落ごとに町営住宅をつくっていただきたい。

産業基盤整備担当理事

国土交通省では整備の進まない公営住宅に代わる低所得者向け居住インフラ確保と空き家、民間アパートなどを有効活用する案が示されています。

す。ご指摘の点については、空き家リノベーション支援事業、空き家バンク事業を実施しております、今後、総合的に検討してまいります。

議員

保育料の関係でこれまで第3子の保育料が無料化になっていたが、1子、2子が小中学校に上がった場合、有料になる問題があったが今後どのような支援をしていくのですか。

健康福祉担当理事

平成28年度からは子ども子育て支援新制度により多子世帯、ひとり親世帯についての保育料については年間所得360万円以下の場合は無料化を行っていきます。

※この他に「獣害対策について」の質問がありました。



平野 美津子 議員



・新宮紀宝道路のルートについて

## 新宮紀宝道路

議員

新宮紀宝道路のルート決定は国土交通省とどのような協議で決定されたのかということをご説明願います。

産業基盤整備担当理事

国土交通省に対して、これまでも河口に橋を架ける会、または新宮・熊野間の期成同盟会で高速交通体系の整備について、十数年間要望させていただきました。この間、紀宝町と国土交通省との間に

いて、ルート決定に至る協議というものはございません。

議員

地方自治法によりますと、やはり通るところです、行政や議会と協議しない限り、最終決定はできないようになっております。

産業基盤整備担当理事

最適ルートを国土交通省、国の社会資本整備審議会、道路分科会等において、審議をしていただき、新宮紀宝道路の当該区間についてというのが、整備することに妥当であるというふうな判断をされたわけでございます。

議員

このルートにしてくださいという今の、現ルートですよ。要望はされましたか、紀宝町としまして。

産業基盤整備担当理事

河口域への橋の建設ということで、これまでも活動してきたところでございます。具体的に今の図面にある線をここへ付けてくださいというふうな話はございません。

議員

私たちは、ルート変更を求める会で2月29日に国交省へ行ってまいりました。そのな

かで担当課長がですね、何回も紀宝町と協議を重ねて、ここに決定しましたというふうにおっしゃいました。国とい

つても、地方自治体に、決定してから通知するということはありえないと思います。だから私達は話し合いを持ちたいというふうな再三、町に対しても要望してまいりました。しかしながら実現しませんでした。ルート変更を求める会の7名の方に2月29日に行っていたら、そういうお話をしました。帰る間際にも会長が協議はされたんですねというふうに言いましたら、はい、しましたと。そういうお答えだったんです。

産業基盤整備担当理事

26年7月1日の午前中に、町議会特別委員会に対して説明をさせていただきました。機能的回復道路の在り方等についての協議はさせていただきます。しておりますが、ルート決定以前に国土交通省と現在のルート決定に至る協議というのはいらないというところでございます。

議員

そういうお答えをいただくとは思っていませんでした。

ヒアリングもありましたよね。その時にルートのことは出ませんでしたか。

### 産業基盤整備担当理事

ヒアリング時においてはですね。そのようなルートというか、河口部に対して、どう整備すべきかということについてヒアリングがあったわけで、この現計画のルートといえますか、センターですね。それらについての協議しているのはしておりません。

### 議員

国交省のお話では事業化される前も、してからも協議はしておりますというお話でした。今後ですね、こういうことになりましたので、三者で持って話し合いを実現していただきますか。

### 産業基盤整備担当理事

これまでも国土交通省のほうへはですね、三者協議を、変更を求める会の方が求めていますというふうに話をしております。

### 議員

事業化前だったらルートの変更もしやすかったというふうにもおっしゃっています。行政としてですね、ここに決定させて、事業化し、杭打ち

もさせたんです。そういう強制的にやったことについては絶対に早く進まないと思うんです。この工事を早く進めるためにも、地域住民、紀宝町だけではないです。皆さん注目しておりますから、皆さんが傍聴できる状態のなかで、やはり国交省、紀宝町と話し合いを持っていただかないかぎり、ものすごく困難なことだと思います。紀宝町はですね、バイパスの時でも40年かかっております。私達もこんな住民を無視したようなかたちで進められたら徹底的に、そのことについては頑張つてまいります。だからそのへんをやっぱし徹底して、国交省と紀宝町との間のことを住民や、地域のこの要望されている方にも明らかにしていくべきじゃないんですか。

### 議員

平野議員の熱い思いは当局も分かったと思います。今、平行線になってますので、もう一度答えさせますけども、要望というか、その三者会議を持っていくことに努力するというところで、誠心誠意努力するということ。

### 議員

誠心誠意ですね、はい。

### 議員

満ちてると思いますので、そこらへんご理解いただきたいと思いますけども。もう一回答弁させますので。

### 議員

はい。

### 議員

平行線になってますので。

### 議員

平行線ですけども。答えないからですよ。

### 議員

答えてると思うんですよ。

### 議員

答えてると言えないんじゃないですか。住民をこんな状態に陥れて。

### 議員

暫時休憩。

### 議員

何で暫時休憩なんですか。

### 議員

再開いたします。

はい。今までの答弁でしたら、平行線をたどるので、今後ですね、この国交省の言っていることと、町の言っていることの違いについては責任を持って住民の前に明らかにしていただくように要望します。

### 産業基盤整備担当理事

先程から申し上げさせていただいておりますとおり、協議はしておりません。

※この他に「学校の防災対策について」「ゼロ歳児保育について」「小学校の数ほど学童保育所の設置について」「地産地消について」の質問がありました。

## 商業施設の振興 防災対策

### ○鶴殿商店街 議員

商店街の振興は何をもって振興とするのか難しいですが。とにかく人に来ていただいて、魅力を感じていただくことが大事だと思います。人を鶴殿商店街に呼び込むためには、拠点が必要であります。その拠点をいかにして作っていくのか。その仕組みづくりとして、そんなにお金もかからない、ちょっと変わったマラソン大会を提案します。大阪ごちそうマラソンのように、商店街を走って提供していただいた食材を給水場で少しずつ食べ、ふれあいながらゴールを目指します。マラソンを一つ企画することで、参加者名簿が残りますので、今後の大会スタッフとして、継続的にご協力をお願いする取り組みもできると思います。



塩野 真 議員

- ・商業施設の振興、防災対策について
- ・町内の電力について

○ウミガメ公園

議員

土地を造成しなくても駐車場の一部を立体駐車場にすれば、駐車台数が増えますし、雨・風を十分しのげます。今後の課題をお聞かせください。

企画調整課長

非常時に備え、後方支援拠点とか、支援物資集配拠点等としての敷地の確保や非常食等の備蓄を行っていくことなど、引き続き避難訓練を繰り返し行っていくことが、防災意識の向上につながっていくと考えております。

## 町内の電力

議員

高圧の電力の使用契約は、最大の電気量、デマンド値が一年間の電気基本料の基準になってしまいます。自治体として電気使用の削減診断を受けたことがありますか。

総務担当理事

関西電気保安協会のデマンド計のモニターを利用して、

実績を上回らないように節電に努めております。

議員

ピークのデマンド量が高い値をクリアしないように、制御していくのは非常に難しいです。一番高い値になりそうな時間帯に蓄電している電気を使って、そのピーク時を下げる役割を果たしてくれる蓄電システム。電気代を下げる以上に非常用電源としてのメリットもあると思います。システムを使った場合のシミュレーションをしてもいいと思いますが、いかがですか。

総務担当理事

本庁舎の非常用電源、まなびの郷、防災拠点施設の太陽光発電設備と蓄電池は備わっております。それをさらに補強するという意味で検討させていただきます。と思っています。保健センターは、非常用電源がございませんので検討してまいりたいと思います。

議員

電力小売り全面自由化が始まります。法人で「紀宝電力」を立ち上げ、発電、買電を町の産業としていく。すでに福岡県みやま市、群馬県の中条町で電力会社を立ち上げて

います。家庭でつくったエネルギーを地元の電力会社が買い取って一般家庭に売って経営していく初めての取り組みであります。大きな利益がなくても雇用が生まれ、町民の皆様方の電気料金が少しでも下がるのであれば、立派な住民サービスの一つかなと思います。木質バイオマス発電と併せれば、相当な雇用が地元で生まれますし、町の目玉産業として、また林業分野の再構築として、さまざまなメリットが考えられます。調査研究だけでもやってみようという価値があると思いますが、いかがですか。

企画調整課長

町の産業として、バイオマス発電所を建設した場合、林業の活性化、雇用機会の創出など、町の創生・活性化につながると思います。しかし一方で、敷地や金額、企業や住民の協力などを要することになります。住民による再生可能エネルギーへの取り組みも全国各地で進んでおりまして、地球温暖化対策や環境破壊を止め、町の活性化につながるものと考えますが、大きなプロジェクトでございます

ので、関係各課と連携を図りながら、調査研究させていただきたいと考えております。

議員

三重県の3つのバイオマス発電は全て5キロワット以上なので地域に50人ほどの雇用が生まれるとされております。使用する木質バイオマス燃料は年間6万トン。約10万㎡の木材でありまして、全て未利用材を利用したとすると、年間約12、3億円の売電収入があります。燃料代は7億円から9億円かかるとありますが、これは地元で木材を調達していただいた方にお支払いするものです。太陽光、風力発電は、日照、風がなければ発電できないですが、バイオマス発電は材料さえあれば、点検、修理以外は発電ができる特徴があります。また材料の調達から、その工場の稼働に含めて、約50人程度の雇用が継続できるのは魅力だと思えます。北海道下川町では発電ではなく熱利用しています。木質バイオマス発電は、電気利用よりも熱利用の方が高効率だといわれております。下川町では町営住宅の暖房等の光熱費が下がり、若

者が移住し、熱を利用したシイタケのハウス栽培の雇用創出がなされました。木質バイオマス発電は何年で元がとれるのかというところと約20年が分岐点であります。導入するのならば、森林資源を把握して、森林環境整備、材料調達など今後の計画を20年単位で立てなければなりません。また電力を買い取る電力会社をつくり、一般家庭、公共施設に売電する体制づくりを併せてやってみなければなりません。が、どうですか。

産業基盤整備担当理事

発電収入と、チップ材などの木材の受給バランスがいい関係にならないければ、運営として成立していかないとかがございます。実証実験を経て黒字経営として、20年間継続して発電できるのかなど情報収集と、さらなる検討を進めてまいりたいと考えております。





的場 孝一 議員

・「紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」についての懸念  
・成川地区の特殊堤高上げについて

## 総合戦略

議員

総合戦略最終版が示されました。私は総合戦略の概要に示されている人口ビジョン、戦略の基本的な考え方、方向性から出てきている人口減少数値目標は、大変、悲観的に受け止めています。机上の空論に終わってしまうのではないかと心配しています。総合戦略最終版にどのような評価を与えていますか。

企画調整課長

大きな目玉事業というものはありませんが、それぞれの分野で、住みやすい、魅力のある紀宝町を増進させ、住民の方々に紀宝町に住んでいてよかった、また町外の方々は紀宝町に住んで見たいと思う施策を展開して参ります。

議員

直近の減少から推計・判断すると、転出者が多いのが、この地域の課題です。出生率を上げる事、転入者を増やすことが最も大切な政策・課題だと伺えます。出産祝い金の支給対象の金額を教えてください。

健康福祉担当理事

出産祝い金については第3子が10万円。それから第4子以降が30万円という制度です。

議員

出生率を上げる対策の一つに、2030年に出生率2.1を目指すのであれば、出産祝い金第3子以上を対象に、大幅に増額する事も対策の一つとなります。また転入者を呼び込む効果もあると思いますが。

健康福祉担当理事

厳しい財政状況という事もあり、保育料とか、教育費に対する支援を拡充してとの声もあり、検討させて頂きたいと思えます。

議員

転出の多さは、学校進学、就職で地域を離れる人が多いのが最大のポイントです。人生の選択や本人の意志を尊重しなければなりません。また拘束もできません。魅力ある町、地域に戻っても仕事ができ、生活ができる町、安心して子育てができる町、高齢者にやさしい福祉の充実の町のなかから、紀宝町のキーポイントを探さなければならぬと思います。先日、紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略が決定されました。今後、進行状況を見守りたい気持ちがあります。私の心の奥底にはこれで15年先、20年先を考えると、私たちの故郷、紀宝町の姿が目に見えなくなってしまう。この総合戦略の内容は抽象的な内容が多く含まれ、周りの地域と似ていて、大きな特色がなく交付事業の申請に幅を持たせる為なのでしょうか。

企画調整課長

財源として、国・県等の交付金、補助金を有効に活用しながら、町の財政負担をできるだけ少なくして実施して行きたいと思えます。議員ご指摘のとおり、今後の交付金や補助金の活用を視野に入れて、戦略は少し幅を持たせた形で策定しております。

議員

前回のプレミアム商品券については一定の期間は商工業の活性化に寄与したと思っています。しかし紀宝町の本質の問題は働く場の創出、転出者の抑制、転入者の増加です。もう一点は合計特殊出生率の向上に寄与できる事業であってほしいと思います。町長にお伺いしたいと思います。現在、交付金の縛りがあり、まわりの地域との事業に特色が表れていないと思えます。出生率を高めることも大切ですが、魅力ある町、シンボル、ビジョンを高めることにより、都会、各地、地方からそれぞれに賛同される家族が移住されるのではないかと期待します。町の少子化による年齢構成比、働く場の創出、さまざまな問題が山積しています。住民と合意形成を

築きあげ、新鮮な特徴ある政策、すなわち妙案を模索する総合戦略であってほしいと願っております。もう一点は財源が必要です。先程から交付金だよりと申し上げましたが、今後必要な時期が来れば、一般会計基金から歳出するのをお聞きします。

町長

海、山、川のこの恵まれた自然環境を活かして紀宝町の魅力をさらに発信して子育て支援にさらに磨きをかけると共に、商工業や農林水産業の振興を図るなど、良い所をさらに伸ばし、また弱い所を補って行くという事で、地域の皆様方と知恵を出し合いながら、一番大事な社会資本整備、特に道路、道路網の整備は必要不可欠であり、また港湾関係、そういった物流の部分についても、しっかりと整備し、受け入れ体制を構築して住民の皆様、そして議会の皆様、役場の各課も含め、皆で良い知恵を出し合い、実現に向けて、共に手を携えながら取り組んで行く事が一番大切であると思えます。思い切った財政出動が必要な場面が到来するかも知れませんが、

その時は、住民の皆様、議会の皆様の知恵も借りながら柔軟に対応して参りたいと考えております。

議員

2015年の人口は1万1千250人です。2040年には7838人との推計ですが、この町で3400人以上の人口減少が起これば、どのような事態になるのでしょうか。想像できません。税金不足、インフラ整備の停滞、公共施設の閉鎖。水道料金の値上げ。医療費負担等、さまざまな問題が起き、行政負担、住民負担が大きく表れると思います。一刻も早く、この不安が解消出来ます様お願いします。

## 成川地区 特殊堤高上げ

議員

龍光寺樋門から下流、JR鉄橋区間の嵩上げ工事の進捗状況をお聞かせ下さい。この箇所は道幅が狭くて大型車両の交差も大変危険です。また歩道も狭く、歩行者、自転車の通行も危険で怖い思いをしている状況です。

産業基盤整備担当理事

平成28年度の出水期後に、龍光寺樋門の耐震補強と合わせ、JR鉄橋付近の特殊堤高上げ工事を予定している事を国土交通省から伺っております。



浅田 和江 議員

・土砂災害警戒区域指定の説明会に関する告知方法と説明内容について

## 説明会に関する告知方法

議員

土砂災害防止法に基づく、土砂災害警戒区域等の指定についての説明会に伺ってお伺いいたします。基礎調査、現地調査が実施され、説明会が井田、成川、神内地区で実施されました。神内地区の説明会への案内は年末に回覧され、説明会開催の直前には地区内の放送で広報しました。2名に満たない人数でした。

回目の説明会は、回覧、防災無線で繰り返し広報していただいたこと、地区内の放送でも広報したことで当日は会場いっぱい住民が集まりました。今回のことを考えると説明会への関心がないのではなく、忘れていたり、知らなかったために1回目の説明会では少人数しか、集まらなかったのではないかと感じます。説明会等開催するにあたり広報の方法や回数等、何か基準のようなものはあるのでしょうか。

産業基盤整備担当理事

告知方法、頻度等についてはルール化、マニュアル化しているものはありません。説明会の開催につきましては主催する三重県と地元区長との間で開催日時や告知方法について調整をさせていただいたとさせていただきます。1月13日の説明会では10人の参加ということで、その反省を踏まえ、井田地区、成川地区では、事前の広報を防災無線等を通じて、開催を周知させていただいたところです。地域性で斜面に家を建てられているところとは、ある程度の関心を持たれている方が多いのかなと

考えておりますが、これらの結果も踏まえて、今後回覧とか、全戸配布がいいのか、行政無線での告知頻度についても検討していかなければならないと考えております。

議員

紀宝町にはホームページとか、ツイッターの公式アカウントも持っていますが、SNSなどを使用して、呼びかけるのも有効ではないかと感じますが、どのようにお考えですか。

産業基盤整備担当理事

今後SNSとかでの情報発信とか、町ホームページへの掲載なども含めて、いろいろと思考してまいりたいと考えております。

議員

それぞれの伝達方法には長所と短所があり、それらを組み合わせる事によって、より多くの様々な対象に対して、伝えることができると思います。今回の説明会は土砂災害警戒区域等が指定されることを伝えるだけではなく、この情報を活かして、自分の身は自分で守るという防災意識の醸成につなげていくチャンスと考えます。説明して下

さるのには県職員です。説明会

の内容は、法律が整備され、紀宝町でも警戒区域を指定することになったこと。地滑りや土石流はどのようなものかなどを聞いた後、警戒区域を記入した航空写真を確認するという流れでした。スライドを映しながら、説明いただきましたが、一枚のスライドに多くの情報が入っていて文字が小さく、会場からは見えにくいものもありました。資料を準備していただくのであれば、住民に見やすい、分かりやすいものにしていただけたらと思います。また、警戒区域の航空写真をしっかりと確認していただき、自分の住んでいる場所がどのような区域に入っているのかを知り、説明を聞いてもらうほうが頭に残りやすいのではないかと感じました。さらに土砂災害が起こりそうな状況になった時、どうすればよいのか考えるきっかけにしていくことが必要ではないかと考えます。そのためには説明会に参加した方に何を持ち帰っていたか、きたいのかを明確にして、重点を置いた説明内容になるよう県との間で調整していただ

きたいと思えます。

### 産業基盤整備担当理事

説明会の内容につきまして、県下統一された内容で開催されています。まず自分の自宅を確認することは、非常に重要なことと思えます。今後も、県と説明会の方法について工夫をしていただいたり、持ち帰っていただく資料についても、もう少し分かりやすいものにしていくことを検討していく必要があると考えております。広く住民の方に知っていただくために、3月号の広報に土砂災害防止法についての説明を掲載させていただいているところです。また今後も自主防災組織や消防団等と連携した取り組みを検討しております。いきいきサロン等でも、防災意識の向上に努めてまいりたいと考えております。区域図については、屋外でも確認できるような方法についてということも参加された方から、ご意見をいただいております。現在、県のほうに、屋外にその区域図の看板の設置とか、検討いただこうようお願いしているとこです。今後、町において、避難体制やハザードマップの

整備をしていくことが法でも定められておりますので、ハザードマップを作成して、整備後は、各戸配布をし、周知を図ってまいりたいと考えております。

### 特別参与

土砂災害関係に対する住民への周知ですが、現在、町では町民防災会議を立ち上げ、活動を進めていくところですので。先般、本部会議を開かせていただいで、全ての住民に知っていただく必要があるということ、学ぶ場として町民会議のほうで取り組んでいく予定になっております。ハザードマップを作成するにあたって、住民さんと一緒になつて、作成に取り組んでいきたいと思っておりますので、住民さんのご協力をお願いしたいと思っております。



大前 森重 議員

・旧熊野大橋について  
・大綱説明について

## 旧熊野大橋

### 議員

本橋は昭和10年4月の開通後、80年を経過する道路橋であります。町が掲げる「安全・安心の町づくり」の観点からはじまる、高度経済成長期には大量の橋が建設され、経済の成長と国民生活の向上に大きな役割を果たしてきたところであります。本橋は建設後、昭和54年の紀宝バイパス新熊野大橋の完成に至るま

で、三重県・和歌山県を結ぶ唯一の橋として、地域経済の発展、住民の生活向上に大きな役割を果たしてきたところであります。現在は大型車両の通行規制・一方通行等荷重の軽減に向けた規制等がされているところでもあります。このような状況の中、本地域には南海トラフ地震の発生が危惧されています。そこで、本橋の点検状況、また結果についてお伺いします。

### 産業基盤整備理事

定期点検は5年に1回で、本橋は本年度実施し、結果は緊急また早期に補修する必要はないと国からお伺いしております。

### 議員

点検結果では構造的には強度が保たれていると理解してよろしいかと。

### 産業基盤整備担当理事

定期点検の結果は申し上げます。旧熊野大橋については他の橋との優先順位を見極めつつ耐震補強するかどうか計画を立ててというふうに向っております。地震に耐えられるかの見解と、現在の橋の状況が切迫して何らかの対応をしなければなら

という状況とは、別のものと考えております。

#### 議員

本橋については、これまでに昭和19年の東南海地震、2年後の昭和21年南海地震、いずれも本橋はこれらの地震には耐えたが南海トラフ地震に対しては耐えられるのか、国の考えがわかればお伺いします。

#### 産業基盤整備担当理事

この橋が耐えられるかどうかについては、問い合わせをしていない状況でございます。

#### 議員

橋梁の老朽化については、

平成19年にアメリカ・ミネソタ州で建設後40年の道路橋が突然崩壊、これを受けて翌年には、国土交通省が道路橋の予防保全に向けた定義、平成26年には社会資本整備審議会、道路分科会で老朽化対策の本格実施に関する提言と警鐘がならされてきた状況であります。また、一方では適切な補修補強により建設後80年を経過しても健全な橋梁も多く存在する状況もあると言われており、国土交通省でもこれらを十分認識し施策を進めていただいていることと

思います。次に利便性から考えると、紀宝バイパスでは渋滞が発生する状況があまりありません。現在の旧大橋の交通量について伺います。

#### 産業基盤整備担当理事

平成25年9月の統計調査では、日交通量は2769台となっており。

#### 議員

仮に震災等で交通規制がされれば、この交通量が紀宝バイパスに移行され渋滞が更に増え、利便性から考えると事業化された河口大橋の建設が重要と思うが町長のお考えをお聞きます。

#### 町長

旧熊野大橋の完成がこの地域にとっては交通ネットワークの飛躍的な発展に繋がったと思います。東南海・南海地震等については、戦時中であつたため、被害の状況が表に出てこなかったこともありませんが本橋の果たす役割は非常に大きかったと思います。想定される南海トラフ地震については耐震の問題等々を踏まえて厳しい状況になると思っていますし、国のほうからも聞いています。これまで活躍してきた橋もありますが、

安全上の問題もあり国等と情報共有・意見交換し、本橋の在り方については検討されていくと思っております。道路交通ネットワークは両県において調査された結果、熊野

川河口大橋を含む新宮紀宝道路の建設が河口部の道路ネットワークにおいて大変重要な社会資本であると結論が出されています。両県の意見に沿って国の事業化の経緯もあるので我々としては安全安心を確保し、将来に向け物流・医療問題・生活の向上を確保していくために皆さんとともに取組みたいと思っております。旧熊野大橋については皆さん方のご意見を拝聴するなかで、国と連携をしながら今後の在り方について対応していきたいと思っております。

## 資源調査

#### 議員

大綱説明の水産振興について、23年の水害以降、魚場が荒れ、漁獲量減少との説明があつたが荒れた原因は。

#### 産業基盤整備担当理事

23年以降、大量に土石が熊野灘に流失し、井田沿岸では磯やけが起こり漁獲量に影響がでていると考えております。

#### 議員

潜水調査ほどの範囲を行っているのか。

#### 産業基盤整備担当理事

調査については、つき磯造成箇所を重点に井田地区沿岸で調査しております。

#### 議員

一度磯やけ状態になると、

自然に戻るまでには長期間を要すると思いますが、藻場の復旧の方法はないのか。

#### 産業基盤整備担当理事

現在、県において藻場造成事業を実施しています。藻場造成には多額の費用が必要で26年度より赤羽地区から進めていただいております。来年度からは井田地区藻場造成事業の実施予定と伺っております。

#### 議員

町も藻場再生に取組み漁場の復旧を要望し質問を終わります。





榎本 健治 議員

- ・若い世代の政治参加について
- ・大綱説明及び諸報告について
- ・ふるさと納税について

## 若い世代の政治参加

議員

現在の日本においては、数的劣勢と、低投票率を背景に若い世代の声が政策決定プロセスに、反映されにくい傾向で見られてきたのが現状でございます。予定されている参議院議員選挙での18歳選挙権の実現を契機として、投票率向上を含め、若い世代の政治参加を促すことが、長期的視点に立脚する現在の世代間のインセンティブを高め、

民主主義の質を高めることになると思いますが、若い世代の政治参加の取り組みについてお伺いをいたします。

総務担当理事

若い世代ほど投票率は低く、平成26年12月にございました衆議院議員総選挙では国内の20代の投票率は32%台となっております。学校においては、選挙制度や、投票の方法など学ぶ機会はありませんが、政治家や政党をどう選択するかが大切になってくるのではないかと思います。また、自分達が民主主義を支える主人公であるという意識づけ、いわゆる主権者教育が重要になってくるのではないかと考えております。

議員

住民票と、かけ離れた場所に住んでいる方で、手続きの方法などが大変複雑化して、投票行動を放棄することも予想されます。不在者投票を大学生等が利用することが予想されますが、非常に分かりにくい状態であります。どのように考えているのか。

総務担当理事

紀宝町選挙管理委員会として、今までの選挙におきま

ても、不在者投票の方法や体が不自由な方の自宅投票も広報紙でも掲載させていただいております。ただ今回、18歳、19歳、大学1年生、2年生という年齢のかたにまで、投票権が広がったということ、さらにその辺りは、強化して広報していく必要があるのではないかと考えております。

## 奨学金支給制度

議員

紀宝町奨学金支給制度について、特に、経済的負担のかかる大学生の奨学金制度について、現在の状況でございます。紀宝町では、東海労働金庫のほうへ、300万円を原資を入れて、利率を少し安くして、借りられる制度について創設されています。前回のときも伺いましたが、前回のときも利用者がいなかったということですが、27年度、どうだったのかについてお伺いしま

す。

教育課長

議員、ご指摘の東海労働金庫と共同で実施しております紀宝町勤労者生活資金融資制度でございますが、教育ローンの利用につきましては、今年度もない状況でございます。

議員

前回は利用者がいなくて、27年度もいなかったということですが、大変使いにくい制度になっているんじゃないかと思っております。今後、この奨学金制度について、この使いにくい制度から、改める必要があるんじゃないかと思っております。その点については、どのようにお考えでしょうか。お伺いいたします。

教育課長

平成27年度から地方創生事業として、紀宝町の奨学金支給制度を創設し、対象は高等学校、高等専門学校に在籍する者としております。ただし、ご指摘のとおり、大学生を対象とした奨学金制度はないのが現状でございます。こういったことも踏まえて、今後、先程、議員からもご指摘あった近隣の市町の支援制度等も調査研究していく

なかで、教育委員会会議等で検討を行ってまいりたいと考えております。

## ふるさと納税

議員

ふるさと納税の平成28年度の取り組みは、

税務住民課長

平成28年度の取り組みは、インターネットサイト最大手であり、ヤフージャパンが4月1日からふるさと納税サイトを開設するに伴い、現在、出展準備を進めております。特典品の数が35品目から50品目へ、新たに10万円の特典も入れ内容を拡充して、予定になっております。

議員

今後、勝ち残っていくためには、お金の落ちる仕組みに返礼品として体験型のメニューも今後導入していかなくてはいけないと思います。全国の自治体での体験型メニューでは、日帰りの入浴券、お寺の参拝、座禅体験、水族館の

入場券、美術館の入場券、遊園地の乗り物券、スキーリフト券、ゴルフのプレー代などがあります。当町のなかでも、体験民泊券であったり、みかん狩り体験、稲刈り体験、船大工の体験、漁師体験であったり、体験型のメニューを含めて、お金が落ちる仕組みをつくれると思います。今後の長期的ななかで、返礼品に体験型メニューを、ぜひ創設していただきたい。

### 税務住民課長

いろいろとご提言をいただきます。ありがとうございます。交流のキーワードを今年から13市町で検討しています。例えば、熊野花火、紀宝町フェスティバルに合わせ、プラスチックとか、みかん狩り体験とか、農業体験とか、やるのも一つの家です。交流の部分は、どこの市町にも来ていただいで、どのようにお金を落とすしていただくかが大きな課題です。

### 議員

ふるさと納税の寄附金額が2150万円に上るとのこと

ですけれども、使い道として、教育の部分へ積み上げる考えはないのかお伺いします。

### 町長

寄附金の状況を見ながら、皆さん方の思いも考えるなかで、取り組んでいきたいなというふうに思っております。現在のところは考えておりません。

### 議員

ぜひ教育長、教育の部分について、将来の投資として、ご検討をいただきたい。

※この他に「地方創生について」の質問がありました。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)



## 本議会を傍聴してみませんか。



本会議では、町民の皆様の生活に関わる重要な問題について、熱い議論が交わされています。町政への理解を深めていただくためにも、皆様の傍聴をお待ちしております。

### ■本会議の傍聴

本会議の議事の公開の原則により、会議中どなたでも傍聴できます。

### ■傍聴の手続き

役場本庁舎3階の議会事務局で受付を行ってください。先着順により受け付けています。傍聴席の定員は40席です。



※傍聴される方は、議場入口に掲示しております傍聴規則をお守りいただきますよう、お願い致します。

●お問い合わせは紀宝町議会事務局まで (☎0735-33-0342)

## 次回定例会の予定

6月14日（火）開会予定です。  
傍聴は議会事務局で受付ています。

## 議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
  - ② 生涯学習センターまなびの郷
  - ③ 福祉センター（鶉殿）
  - ④ 保健センター（神内）
  - ⑤ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

## インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、  
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓  
「インターネット議会中継」をクリック

## 可決された議案（3月）

- 教育委員会委員の任命同意
- 山中富行さんの任命に同意しました。
- 紀宝町水道基金条例の制定（条例の制定 他4件）
- 紀宝町人事行政の運営の状況の公表に関する条例の一部改正（一部改正 他9件）
- 平成27年度一般会計補正予算（2件）
- 平成27年度特別会計補正予算（5件）
- 平成28年度一般会計当初予算（6会計）
- 平成28年度特別会計当初予算（6会計）
- 紀宝町町道路線廃止
- 紀宝町町道路線認定
- 東紀州農業共済事務組合規約の変更に関する協議

## 諮問（3月）

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
- 人権擁護委員に前地幸久さんを推薦することに同意しました

## 編集後記

紀宝町も1月10日に合併10年の節目を迎え、記念式典が開催されました。この10年間には、鳥インフルエンザや、紀伊半島大水害など、町にとって厳しい試練となる出来事も起きました。行政と地域の方々や、ボランティアの皆さんとの協働があつて、復旧・復興ができてきたのだと思います。今後、紀宝町が20年、30年と発展していくためには、急激に進んでいる少子高齢化、人口減少など課題も多くあります。これら課題への取り組みとして行う「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に私達も連携していく事が重要だと考えます。すべての住民が、生きがいを持ち、生涯を通して心豊かに生活できる町づくりの取り組みに議会としても、努めていく所存でありますので、皆様方の変わらぬご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

（文責 西村）

「議会だより」（37号）

編集委員 西村 喜久男

榎本 健治

平野 美津子

